

Broaden your horizons 99 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。
“調剤の世界”に生きる私たちは、社会からどのように見られているのでしょうか。昔、薬学生を世に送り出したのは46大学でした。今春、立命館大学と鈴鹿医療科学大学から第1期生が巣立ちの日を迎えたので、今は74大学(徳島文理大学は徳島本校と香川校を合わせた国家試験合格率が発表さ

れているので、資料によって73大学と表記されています)です。国公立17大学は変わらないので、私立が29大学から57大学へ増えたこととなります。この薬学部増設ラッシュ時に、「10年後、薬剤師の3割が失業する」という記事が紙面ににぎわせました。確かに、薬学生が増えたので、そのまま全員が(国家試験にパスして)薬剤師になれば、そういう事態も想定されます。ですが、今は昔です。

最近刊行された『日本人の給料大百科』(宝島社)という雑誌の中で「10年後に食える職業ランキング」の10位に薬剤師がランクインしています。ちなみに、1位は医師、2位は大学教授、3位はパイロットです。また、雑誌『PRESIDENT』では、「企業別平均年収」の特集が生まれ、1千万円の台を超えが大塚HD、武田薬品で40歳、エーザイ、第一三共、キョーリン製薬、協和醗酵キリン、大日本製薬で50歳と、他業界も「あっ」と驚く高水準をキープしています。おまけに、『AERA』も「就職に強い薬・看護大学大特集」というお題を表紙に飾り(あっ、その号に私の記事も掲載されました。よろしければご覧ください)、「一生使える資格は強い味方」と結んでいます。薬学部人気に戻ってきそうでうれしいのですが、3月31日の国試結果発表が社会にどのように映るか、少し怖いです。

今、弁護士が「ブラック資格」といわれています。資格の取得が大変な割に、食えない人が増えているからです。では、薬剤師は? 今年の国家試験は超難関でした。卒業留年生と国試不合格者を合わせると、6回生の約半分が薬剤師になれないと思います。現場も企業も内定者が「未薬剤師」で、慌てふためく様子が見て取れます。やはり、薬剤師は王国の中でも王国の外でも強い職業だと思えます。「ホワイト資格」と言い切れるほど年収は高くありませんが……(笑)。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子